

## 平成27年度 第1回下野市教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 平成27年4月20日(月)午後3時00分～午後5時15分
- 2 場 所 下野市役所石橋庁舎 201会議室
- 3 出席委員 委員長 永山伸一  
委員 三橋明美  
委員 熊田裕子  
教育長 池澤勤
- 4 欠席委員 職務代理者 前原久
- 5 出席職員 教育次長 野澤等  
教育総務課長 若林早苗  
学校教育課長 梅山孝之  
生涯学習文化課長 増淵晴美  
スポーツ振興課長 坪山仁  
教育総務課課長補佐 伊澤仁一  
教育総務課主幹 古橋栄一
- 6 傍聴人 なし
- 7 審議事項  
議案第1号 下野市生涯学習推進計画策定に伴うアンケート調査業務標準型  
プロポーザル実施要領の制定について  
議案第2号 大松山運動公園拡張整備に係る民間活力導入調査業務標準型  
プロポーザル実施要領の制定について
- 8 協議事項  
(1) 教育委員の下野市立小中学校教科用図書選定委員会への推薦について
- 9 報告事項  
(1) 行政組織の改編に伴う関係告示の整理に関する告示について  
(2) 行政組織の改編に伴う関係訓令の整理に関する訓令について  
(3) 教育委員会後援等の承認について  
(4) 寄附受け入れについて  
(5) 平成26年度学校教育サポーター事業報告について  
(6) 家庭教育学級の実施について
- 10 その他  
(1) 下野市子ども・子育て支援事業計画について

永山委員長	<p>あいさつ 議事録署名委員の指名 永山委員長及び三橋委員 前回会議録の承認について、事前に送付してある会議録の確認をお願いします。 訂正等があれば発言を求める。</p>
三橋委員	<p>会議録P4の中ほどに「学校評議委員」とあるが、これは「学校評議員」の誤りだと思われるので訂正をお願いします。</p>
永山委員長	<p>他に訂正等はあるか。(特になし) 会議録は指摘事項を訂正のうえ承認とする。 次に、教育長の報告を求める。</p>
池澤教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3月27日～3月31日にドイツのディーツヘルツタールからの訪問団が来市。(生徒16名、引率者4名) 3月28日には、国分寺中学校を見学し部活動等を体験した。</li> <li>・ 3月31日に退職辞令交付式があった。(今年度退職者7名)</li> <li>・ 4月1日に辞令交付式があった。(23名が着任: 校長4名、教頭4名、教諭14名、養護教諭1名)</li> <li>・ 4月2日～4月3月にかけて、学校長(8校)の事務引き継ぎが無事終了した。</li> <li>・ 4月2日に「しもつけ風土記の丘資料館」がオープンした。</li> <li>・ 4月8日に市内中学校4校の入学式が行われた。(新入生579名)</li> <li>・ 4月9日に市内小学校12校の入学式が行われた。(新入生576名)</li> <li>・ 4月15日に県市町村教育長会議が開催された。足利市・那須烏山市・壬生町・高根沢町4つの市町で、新教育委員会制度に基づく新教育長が就任した。</li> </ul>
永山委員長	<p>質疑等はあるか。(特になし) 審議事項に入る旨を伝える。 議案第1号「下野市生涯学習推進計画策定に伴うアンケート調査業務標準型プロポーザル実施要領の制定について」説明を求める。</p>
増淵生涯学習文化課長	<p><b>【説明要旨】</b> 平成20年3月に策定した下野市生涯学習推進計画(第一次計画)が平成27年度をもって終了するため、平成28年度～平成32年度の5か年について第二次計画を策定する。今回、市民や団体へのアンケートを実施し計画策定の基礎資料とするため、当該要領を制定しプロポーザル方式で業者を選定するものである。業者はアンケート調査のみを行い、計画の策定等は生涯学習推進協議会と生涯学習推進本部において行う。 以下、要領の内容について詳細な説明を行う。</p>
永山委員長	<p>質疑等はあるか。 第一次計画の策定にあたっては、アンケート調査は実施したのか。</p>
増淵生涯学習文化課長	<p>今回初めての実施になる。 アンケート結果の中で第一次計画の評価等も行うのか。</p>

増渕生涯学習文化課長	今回の調査業務に評価内容は含まないが、第一次計画の内容を踏まえながら次期計画策定に反映させていく予定である。今回は「学び」や「学習の支援」に重点を置いてきたが、今回は協働のまちづくりの実現を目指し、「学んだことを地域や社会に生かす」ことも構想の柱としたい。
永山委員長	「プロポーザル」を初めて耳にする委員もいるかと思うので説明をお願いします。
増渕生涯学習文化課長	業者の選定方法の一つであり、価格（見積もり）だけではなく企画や提案内容を選定委員会で吟味しながら、多面的に評価・選定する方法である。
永山委員長	他に質疑等はあるか。（特になし） このとおり決定してよろしいか。（全委員承認） 議案第1号は原案どおり決定する。 続いて議案第2号「大松山運動公園拡張整備に係る民間活力導入調査業務標準型プロポーザル実施要領の制定について」説明を求める。
坪山スポーツ振興課長	【説明要旨】 大松山運動公園の利用促進と効率的な施設の管理運営を図るため、公園の施工、管理運営上の経費削減、質の高い公共サービス等が提供できるよう、民間のノウハウを活用し、指定管理者制度の導入等について検討したいと考えている。 今回の調査業務では、大松山運動公園拡張整備に参入する業者が、実際のところあるのかどうか、また、参入に当たりどのような条件が求められるのか等、緻密な調査を行う業者を選定するため、プロポーザルを実施する。 以下、プロポーザル業者の選定方法及び当該実施要領について詳細な説明を行う。
永山委員長	質疑等はあるか。 民間活力の導入方法には、どのようなパターンがあるか
坪山スポーツ振興課長	現段階では、以下の3パターンが想定される。 ①民間業者が建設から管理運営まで行う（民－民パターン） ②公設したものを民間で管理運営を行う（公－民パターン） ③建設から管理運営まで行政が行う（公－公パターン） タイムスケジュールでは今年度実施計画を策定し、平成27年度～28年度で用地を取得、平成29年度から着工する予定となっている。
永山委員長	他に質疑等はあるか。（特になし） このとおり決定してよろしいか。（全委員承認） 議案第2号は原案どおり決定する。
永山委員長	次に協議事項に移ることを告げる。 （1）教育委員の下野市立小中学校教科用図書選定委員会への推薦について説明を求める。
梅山学校教育課長	【説明要旨】 教育委員会委員から当該選定委員会委員の推薦（任期1年）をお願いします

	<p>ものである。今年は、平成28年度に使用する中学校教科用図書及び特別支援学級の教科用図書を選定するため、2回の選定委員会が予定されている。選定にあたり、別紙「教育委員の審議会への推薦依頼」一覧表を参照いただきたい。</p>
永山委員長	<p>今回の推薦依頼をどのように扱ったらよろしいか。</p> <p>前原委員が体調をくずされているので、残りの委員の中で決めることになると思う。</p>
熊田委員	<p>審議会への推薦一覧をみると、割合的に私がお受けする順番になると思う。4年前にも選定委員として携わった経験があるが、歴史認識をはじめ発言の機会が多い会議なので役割を全うできるか心配である。</p>
永山委員長	<p>そこは、熊田委員個人として責任を負うというわけではなく、自身の見識や考え方に沿ってご発言をいただき、後は委員会の総意として判断していくものだと考えていただきたい。</p> <p>熊田委員を推薦することでよろしいか。(全委員承認)</p> <p>他に質疑等はあるか。(特になし)</p>
永山委員長	<p>次に報告事項に移ることを告げる。</p> <p>報告(1)と(2)は関連があることから一括して説明を求める。</p> <p>(1) 行政組織の改編に伴う関係告示の整理に関する告示について</p> <p>(2) 行政組織の改編に伴う関係訓令の整理に関する訓令について</p>
若林教育総務課長	<p><b>【説明要旨】</b></p> <p>いずれも行政組織の改編に伴い、例規(市長部局)における課名等(教育委員会事務局)の改正を行ったものである。</p> <p>(1)は告示として制定したもの(2)は訓令として制定したものであるため、別々の報告事項となっている。</p>
永山委員長	<p>質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>続いて(3)教育委員会後援等の承認について説明を求める。</p>
若林教育総務課長	<p><b>【説明要旨】</b></p> <p>下野市教育委員会等承認一覧に基づき、5月現在で3件の承認をした旨の報告。No.3に関しては行事日程の変更が生じたため、変更申請を行うことになっている。</p> <p>以下、別紙取扱要綱に沿って承認の基準等について説明を行う。</p>
永山委員長	<p>質疑等はあるか。</p> <p>要綱における「広域的であること」や「真の適任者であるもの」等は具体的にどのような基準なのか、この機会に整理してみる必要があると思う。</p>
熊田委員	<p>申請手続きに「事業開催前14日」とあるが、これでは短いのではないか。</p>
若林教育総務課長	<p>14日というのは、「どんなに遅くても」という意味であり、かなり前から申請しているケースがほとんどである。</p>
池澤教育長	<p>最近では、営利目的の後援依頼等も出始めているので、教育委員会での審議も必要ではないかと考えている。</p>

永山委員長	私もそうあるべきだと考える。これまでは教育委員会代表として教育長に判断をお願いしていたが、その負担はかなり大きいと思う。申請も巧妙化しており、セミナーと称しながらその実は勧誘であるようなケースも想定される。
池澤教育長	審査を考慮すると最低でも1ヶ月は必要である。教育委員会が開かれるサイクルに合わせて、申請期間を設定しても良いのではないか。
若林教育総務課長	後援等承認が報告事項である理由として、教育長の委任事務であることが大きい。近隣自治体の取り組み状況等を確認しながら、部内会議においても検討していきたい。
永山委員長	他に質疑等はあるか。(特になし)
若林教育総務課長	続いて(4)寄附受け入れについて説明を求める。 【説明要旨】 小山農業協同組合から図書カード258枚(129,000円相当)及びランチョンマット610枚(116,510円相当)の寄附があった旨の報告。 図書カードはJA小山所管(国分寺地区・石橋地区)の農産物直売所に各学校毎の箱があり、そこに購入レシートを入れると売上金の0.3%分を還元する仕組みになっている。ランチョンマットについては、新入生が576名で全員に配れる数があったため、地区に関係なく配布した。
永山委員長	他に質疑等はあるか。(特になし)
梅山学校教育課長	続いて(5)平成26年度学校教育サポーター事業報告について説明を求める。 【説明要旨】 「平成26年度 学校教育サポートセンター事業報告(下半期・年間)」に基づき、「相談部」と「スマイル教室」の下半期における事業や相談件数等について報告を行う。 上半期の報告に合わせたため、数字(件数)が何を示しているのか大枠でしか把握できていない。次年度からは、相談方法・相談者・相談内容別に集計を行い、体系的に分析したうえで、今後の事業に生かせるよう改善を図っていきたい。
永山委員長	質疑等はあるか。 考察(4)にある「不登校児に関わる情報の共有」について、家庭と連絡が取れないことはあるか。
梅山学校教育課長	所在不明児童の調査の結果、当市では該当者ゼロである。
野澤次長	スマイル教室における25年度「年間総計」に、上半期分が加算されていないようなので訂正をお願いする。
三橋委員	スマイル教室については、個人に目標設定をさせることが児童生徒の負担にならないかが心配である。
梅山学校教育課長	スマイル教室に通うことだけが目的ではないので、例えば、卒業式に皆と参加することが目標でもいいのではないかと考えている。
永山委員長	他に質疑等はあるか。(特になし)

<p>増渚生涯学習文化課長</p>	<p>続いて（６）家庭教育学級の実施について説明を求める。</p> <p><b>【説明要旨】</b></p> <p>下野市の家庭教育の向上を図るために、新規事業として中学校区単位で家庭教育学級を開設するものである。以下、「平成２７年度 下野市家庭教育学級開設要項」について詳細な説明を行う。</p> <p>「実施までの手順」にあるとおり、４つの中学校区に分け、地域連携教員を中心に各学校において企画立案を行う。講師等の調整は生涯学習文化課で行うが、保護者への周知や運営については学校主体で行うことになる。</p> <p>家庭教育学級の開講事業として、６月２７日（土）に丸山隆氏による講演を国分寺公民館で実施する。（県主催の地域アクションミーティングの一環）</p>
<p>永山委員長 熊田委員</p>	<p>質疑等はあるか。</p> <p>講師の報酬は３５，０００円以上でも可能なのか。</p>
<p>増渚生涯学習文化課長</p>	<p>今回は新規事業でもあり、全体の予算が１４０，０００円なので、目安として１中学校区あたり３５，０００円の範囲内とさせていただいた。</p>
<p>池澤教育長</p>	<p>ボランティアや地域連携教員を活用することで、予算を抑えることは可能である。</p>
<p>増渚生涯学習文化課長</p>	<p>報償費の額は「平成２７年度下野市講師謝金支出基準」に基づいている。要項の６経費における※印を参照されたい。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>また、当該事業は今年度だけではなく、来年度以降も継続して行っていく予定である。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>質疑等はあるか。（特になし）</p> <p>次にその他に移ることを告げる。</p>
<p>若林教育総務課長</p>	<p>下野市子ども・子育て支援事業計画について説明を求める。</p> <p><b>【説明要旨】</b></p>
<p>永山委員長</p>	<p>平成２７年３月に策定した「下野市子ども・子育て支援事業計画」について、概要版の冊子に基づき、計画の基本理念や計画の基本的視点等について説明を行う。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>当該計画は２，０００人規模のアンケートを実施し（回収率は７６．７％）平成２５年度と平成２６年度の２年間で策定したものである。この計画と共に表紙にある「しもつけっ子」という言葉を定着させたいと考えている。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>質疑等はあるか。（特になし）</p>
<p>永山委員長</p>	<p>最後に、大松山運動公園拡張整備基本設計（概要版）について、坪山スポーツ振興課長より設計の概要説明を行う。今後、２０２０年の東京オリンピックのキャンプ地の誘致や２０２２年（平成３４年）の栃木国体の誘致についても検討を行っていく。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>次回の教育委員会は５月２１日（木）の午後１時３０分の予定とする。本日の議事日程は全て終了した旨を告げ、午後５時１５分閉会。</p>